

第2回東アジア顕微鏡学会議 サテライト若手シンポジウム開催報告

澤 口 朗

宮崎大学医学部解剖学講座 超微形態科学分野
日本顕微鏡学会次世代顕微サイエンス若手研究部会部会責任者

第2回東アジア顕微鏡学会議（EAMC2：2015年11月24日～27日：姫路商工会議所）のサテライト企画として、11月27日・28日の2日間、日本と中国、韓国、台湾の計4学会から次世代の顕微鏡サイエンスを担う若手研究者43名が兵庫県立夢舞台国際会議場に集い、「物質科学と生命科学の交流が生み出す複視眼的学際研究」の形成と世界に向けた発信を目的とする若手シンポジウムが開催されました。

参加者はEAMC2閉会后、姫路商工会議所前に用意されたチャーターバスに乗り、爽やかな秋晴れの下で明石海峡大橋を渡り、自然豊かな淡路島に到着しました。受付も早々に、

最初のセッション“Advances in Material Science”が始まり、東アジアから発信される最新の研究成果報告と、活発な意見交換が展開されました。この他にも、プログラムはPlenary Lectures “Drawing a Future Vision toward the Next Generation of Microscopic Science”と専門分野セッション。“Advances in Life Science”, “New Methods in Microscopic Science”, 大学院生によるポスターセッションで構成され、全ての発表と質疑応答・討論が英語で行われました。

物質・材料系、装置開発系、医学・生物学系の専門分野を問わずに一つの部屋に集う会議スタイルには、興味関心が薄れる不安もありましたが、多くの参加者から「普段は注目することが少ない他の専門分野に触れる良い機会であった」との感想が寄せられました。初日のプログラム終了後に催された懇親会では、中国、韓国、台湾から参加した若手研究者との交流がさらに広がるなど、盛会のうちに全日程が終了いたしました。今回のサテライト企画が、次世代顕微サイエンスを担う若手研究者の視野を広げ、今後の更なる研究展開に繋がるものと期待しております。

末筆ながら、本サテライト若手シンポジウムの開催に際し、ご支援いただきました関係の皆様へ、心より御礼申し上げます。



図1 上：集合写真、左下：講演会場、右下：ポスター発表

Akira Sawaguchi: Young Scientists Satellite Meeting in The 2nd East-Asia Microscopy Conference
〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200
TEL: 0985-85-1784; FAX: 0985-85-8406
E-mail: akira_sawaguchi@med.miyazaki-u.ac.jp
2016年3月11日受付